

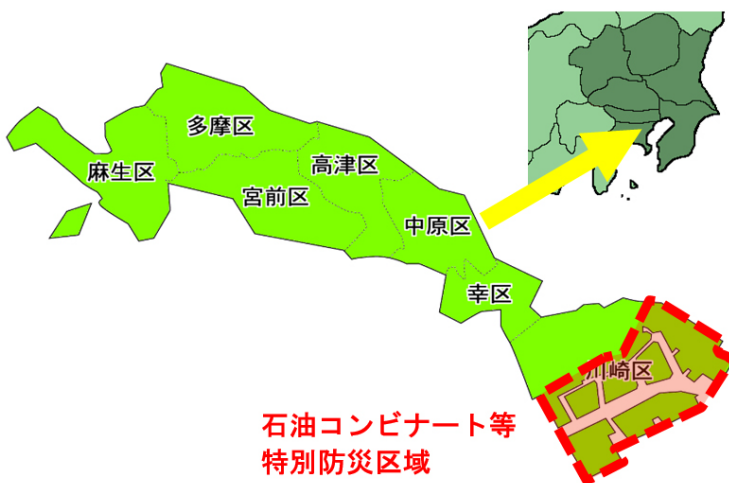


危険物等の保安の確保に関する調査審議 (川崎市危険物等保安審議会)

川崎市消防局 予防部危険物課 規制係
田淵 一人

●はじめに

川崎市は、神奈川県北東部に位置し、北は東京都、南は横浜市に隣接し、多摩川に沿って南東から北西へ伸び、その最長距離は33.13kmにわたる細長い地形となっています。東京湾に接する臨海部は、明治時代から埋立てが進められ、石油、鉄鋼、化学、セメント、電力等の産業が集積され、京浜工業地帯の中核となり、昭和30年代後半になると、石油化学系の工場が建設、操業され、国内初期の石油化学コンビナートのひとつとして形成してきました。



●設立の背景

昭和39年に全国で相次いで発生した危険物災害は、保安行政の在り方を大きく問う契機となり、自治省消防庁においては、翌年、危険物の規制強化を図るための政令等の整備がなされました。この間、国内有数のコンビナート区域を抱える川崎市においては、現地消防の立場から改正案の審議に参画し意見を述べてきましたが、「災害が起こるたびにいくら法令を整備し、規制を強化してみても、産業機構と技術の進歩は常に先行するという現実からすれば、現存する諸情勢を肯定し、その上に立脚した自主保安という作用に着目し、この中に安全技術や保安教育を十分に取り入れた体制を上げることが良策ではないか。」との構想に至りました。これを推し進める手段としては、「机上で作成した抽象的、観念的なものを押し付けるという一方的なものではなく、産業構造に密着し、かつ、新しい技術を土台にした方策をとるべきである。」との理念のもと、昭和40年9月、危険物等の保安に関する事項について民間有識者の意見を直接反映するような方式で審議する「川崎市危険物保安審議会」と称する組織を設立しました。

平成27年4月からは、川崎市条例に基づく市の附属機関として位置づけるとともに、名称を「川崎市危険物等保安審議会」と改め、危険物、高圧ガス等の保安の確保に関する調査審議を50年以上にわたり継続して行っています。

●活動内容

審議会は、市内の石油精製業、化学工業、鉄鋼業、電力事業等々、幅広い業種の企業から有識者を推薦していただき、20人以内の委員で構成しています。

活動内容は、危険物等の貯蔵及び取扱いに関する事項全般における課題の中から、審議テーマ（消防局長の諮問・意見具申を含む。）を決めて、毎月1回、消防局において審議会を開催し、各委員が自社のノウハウ等を持ち寄ることで調査審議に取り組んでいます。過去50年以上の活動における審議事項は多岐に及び、一つのテーマを数年かけて審議するものもあります。

審議方法は、事務局（消防局）が資料等を準備し、説明するといった会議形式でなく、委員（民間企業）の方々が主体となって課題に係る資料を作成して持ち寄り、会議において他の委員とともに分析、研究して審議結果を取りまとめているところに大きな特徴があります。



●成果

化学プラント等、製造現場におけるノウハウや高度で専門的な知識・技術は、消防職員のみでは理解することが困難ですが、審議会に必要な知識を得ることで申請等の審査又は検査の際に、事業者と対等に話ができる等、職員のモチベーションの向上につながっています。

危険物等の取扱いに係る安全を確保する上で、企業と行政の立場の違いを相互に認識し、現場の価値観に沿った審議が行われることで、行政側の一方的な指導に偏ることなく実態に見合った行政運営の実現につながっています。

幅広い分野の民間企業が委員として参画し、保安分野の情報共有が図られることは、各事業所の自主保安体制の確立につながるとともに、これまでの先進的でニーズに見合った審議は、市内の事業所における保安意識に大きな影響を与えています。

審議の成果は、消防行政への反映のほか、市内事業所で活用され、過去には、出版物として全国規模で広く活用されているものもあります。また、近年は全国の事業所等の保安の確保に資するため川崎市のホームページに公表し、全国の危険物行政及び危険物事故防止等の取り組みに大きな影響を与えています。

<過去の主な成果物>

- ・予防規程準則の作成・改訂 [昭和41年・昭和51年・平成24年]
<http://www.city.kawasaki.jp/840/page/0000042683.html>
- ・危険物関係施設申請の手引きの作成・改訂 [昭和43年・平成5年・令和元年~]
<http://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/15-13-1-6-2-0-0-0-0-0-0.html>
- ・危険物製造所等における火気使用工事の安全対策の作成・改定 [昭和47年・平成26年]
<http://www.city.kawasaki.jp/840/page/0000064922.html>
- ・毒劇物警防マニュアルの作成・改訂 [昭和49年・平成10年]
- ・石油化学工場等における自主点検基準の作成・改訂 [昭和50年・昭和61年]
- ・危険物施設の事故事例集の作成 [昭和57年・平成8年]
- ・危険物取扱者等の教育カリキュラムの作成 [昭和59年]
- ・イラストで学ぶ危険物・高圧ガスの安全取扱マニュアルの作成 [平成元年]
- ・安全教育用保安関係法令用語集の作成・改訂 [平成13年・平成24年]
<http://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/15-13-1-6-3-0-0-0-0-0-0.html>
- ・大規模地震発生時における危険物保有事業所の対応措置（指針）の作成 [平成18年]

・危険物等事事故事例から学ぶ教育資料の作成 [平成30年]

<http://www.city.kawasaki.jp/840/page/0000096474.html>



●おわりに

今回紹介させていただいた「危険物等の保安の確保に関する調査審議（川崎市危険物等保安審議会）」は、長年の取り組みが評価され、第4回予防業務優良事例表彰において優秀賞を頂くことができました。

この取り組みが50年以上継続して行えたのは、歴代の委員の方々と諸先輩方のご尽力によるものです。今後も危険物等に係る多くの諸課題に対し、官民一体となって川崎市の保安行政を推進してまいります。